

案件概要書

2012 年 5 月 24 日

国際協力機構南アジア部南アジア第二課

1. 案件名（国名）

国名： アフガニスタン・イスラム共和国

案件名： カブール国際空港保安機能強化計画（The Project for Strengthening of Security in Kabul International Airport）

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における民間航空セクターの開発実績（現状）と課題

アフガニスタンでは航空は道路と並ぶ運輸・交通の重要な手段となっている。首都カブールの空港は 3,500m の滑走路 1 本を持つアフガニスタンの玄関口であり、同国最大の空港として、国内外の交通・物流の拠点となっている。同空港の旅客数は近年著しく増加（2010 年には約 144 万人）しており、2020 年には年間 4 百万人まで増加することが予測されている。

同空港ではテロ等の不法行為に対して厳重な警戒態勢をしいており、①空港敷地内（駐車場）への入場の際に行われる車両検査、荷物検査及び身体検査、②空港ターミナルへの入場の際に行われる荷物検査及び身体検査、③出国審査後に行われる機内持込荷物検査及び身体検査、が行われている。しかしながら、これら検査に必要な施設や機材等が不足しており、検査待ちの車両・旅客が長い行列を作っているなど、増加している旅客数に十分に対応できていない。これにより航空機の出発遅延等の問題も発生している。また現在の検査は手作業に頼る部分が多く、爆発物や武器の持ち込みに対し、精度の高い検査が行えていないことも課題とされている。特に、入国審査後のセキュリティチェックにおいては、それを行う十分なスペースが確保されておらず、入国審査にも影響を及ぼしており、加えて、急激な旅客数の増加により旅客数に対して十分な待合室を確保できておらず、旅客に対する適切なサービスを提供できていないことも大きな問題となっている。

同空港に対しては、外国航空会社等の乗り入れ希望がある一方、これら状況に対応できていないことが大きな機会損失となっており、これらへの対応が緊急的に必要である。

(2) 当該国における民間航空セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

アフガニスタン国家開発戦略（ANDS: Afghanistan National Development Strategy）」（2008 年）において、「カブール国際空港とヘラート空港を国際民間航空機関（ICAO）の基準と勧告を満たす国際空港とすること」を重点目標として掲げている。また国家優先プログラム（NPP: National Priority Program）において「民間航空セクター開発」は重点課題の一つとされており、カブール国際空港の整備は最重点プロジェクトとして位置づけられている。

(3) 民間航空セクターに対する我が国の援助方針

インフラ整備は我が国の対アフガニスタン援助重点分野の一つに位置付けられ、JICA はカブール首都圏開発プログラムを実施している。JICA は同プログラムにおいて、「空港等の整備」を成果の一つとし、カブール国際空港の整備に取り組んでいる。同空港に対しては、「カブール国際空港ターミナル建設計画」（無償、実施済）を中心に 7 件の協力を実施しており、「カブール国際空港は日本の援助」という目に見えるインパクトを示している。

(4) 他の援助機関の対応

世銀、アジア開発銀行、ドイツ、国際民間航空機関（ICAO）などが滑走路整備、セキュリティ機器の供与、国内線ターミナル改修、各種人材育成プロジェクト等を実施している。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

カブール国際空港において、保安施設の改善やセキュリティ機材の整備を行うことを通じ、効率的かつ効果的なセキュリティチェックを可能にし、空港の安全性を高めるとともに、空港の混雑緩和や航空便の定時発着性の向上など乗客及び航空会社の利便性向上に貢献する。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

カブール国際空港/カブール市

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

【施設】保安施設建設、空港内アクセス道路建設、国際線ターミナルビル改築（入国審査後の手荷物スペース、入国審査スペース及び搭乗待合室の拡張等）。

【機材】車両用 X 線検査装置 2 台、旅客手荷物用 X 線検査装置 7 台、旅客用門型金属探知機 7 台、手持ち金属探知機 7 台、旅客輸送用バス 6 台。

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

施設建設・改築にかかる実施設計及び施工監理／ソフトコンポーネントなし（協力準備調査にて詳細を確認する。）。

3) 調達・施工方法

供与機材は基本的に本邦調達もしくは第三国調達とし、建設資機材は、現地調達とする（協力準備調査にて詳細を確認する。）。

(4) 事業実施体制

責任官庁：運輸民間航空省、事業実施期間：カブール国際空港

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類: B

② カテゴリ分類の根拠: 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる空港セクターのうち、大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

2) 貧困削減促進等：アフガニスタンの玄関口であり、最大の国際空港の利便性・確実性が向上することにより、同国の経済発展に繋がり、貧困削減に間接的に貢献する。

(6) 他スキーム、他ドナー等との連携：特になし。

(7) その他特記事項：特になし。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

同国の類似セクターへの支援において、資材費の高騰により入札不調（予定価格超過）が生じたため、コンポーネントを削除せざるを得ず、事業の円滑な実施を妨げたとの所見を得ている。

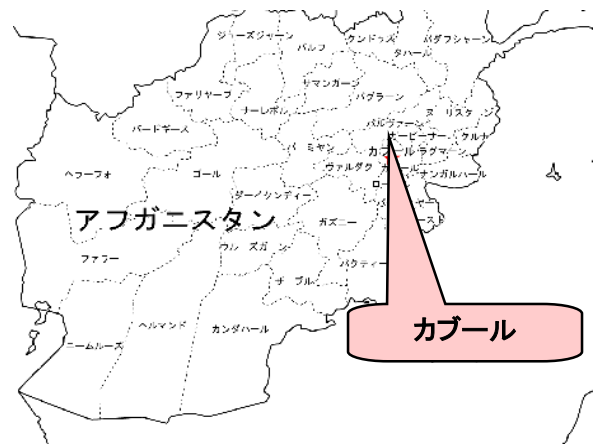
(2) 本事業への教訓

本案件の設計・積算作業の際には同国で実施した類似案件における入札結果等を反映し、同様のことが起きないように留意する。また競争性を働かせる工夫を行い、価格低減に努める。

以上

〔別添資料〕地図

地図



カブール市内地図